

第1回 紀の川市水道事業運営審議会議事要旨

開催日時：令和2年11月20日（金）10時00分～11時15分

開催場所：紀の川市役所 3階 庁議室

出席者

【紀の川市水道事業運営審議会委員】（9名）

仁藤会長、田村副会長、菅原委員、根未委員、恩賀委員、野村委員、三浦委員、前川委員、坂下委員

【事務局（上下水道部）】（7名）

山東部長、徳山次長、長岡水道技術管理者、片山水道総務課長、堀川班長、亀位班長、今西主査

配布資料

- ・第1回紀の川市水道事業運営審議会 説明資料
- ・紀の川市水道事業ビジョンと経営戦略及び令和元年度決算の概要について【添付資料1】
- ・令和元年度施設更新事業の進捗状況について【添付資料2】
- ・ご意見お伺いシート
- ・その他資料（水道事業ビジョン冊子・経営戦略冊子・令和元年度紀の川市水道事業決算書）
- ・人権学習パンフレット

1 開会

事務局：今回審議会の出席数は9名であり、委員の過半数を満たしており、審議会が成立する旨を報告しました。

2 委嘱状の交付

3 上下水道部長挨拶

4 委員の紹介

5 事務局の紹介

6 会長及び副会長の選出

- ・会長 仁藤伸昌氏 選出
- ・副会長 田村孝一氏 選出

7 会長挨拶

8 議長の選出

- ・議長 仁藤伸昌氏 選出

9 審議会への依頼内容

- ・上下水道部長より説明

10 審議事項

(1) 紀の川市水道事業ビジョンと経営戦略及び令和元年度紀の川市水道事業決算の概要について事務局から以下の内容について説明：

- ・紀の川市水道事業の沿革
- ・水道事業ビジョン・経営戦略策定の経緯と計画全体イメージの説明
- ・水道事業ビジョン及び経営戦略の投資目標と財源目標
- ・経営戦略事後検証（審議会の役割について）
- ・令和元年度水道事業決算の概要（経営成績と財政状態及び経営戦略目標値との比較）

(2) 令和元年度施設更新事業の進捗状況について

事務局から以下の内容について説明：

- ・令和元年度更新事業の工事实績の報告
- ・令和2年度更新事業の工事進捗状況の報告
- ・令和3年度工事事業の工事予定の報告

《以下 質疑応答》

委員：

昨今新型コロナの影響により基本料金免除されていると思いますが、これにより財政は大丈夫なのか。素朴な疑問ですが、値上げされた中での免除ということで少し切迫するのではないかと思います。今後どのようになるのか説明願います。

事務局：

ご質問にお答えさせていただきます。新型コロナによる基本料金免除につきましては、本年7月請求分から12月請求分までの6ヶ月間実施してございます。ご質問のあった基本料金免除による収入減少分につきましては、一般会計より全額繰入しております。本年の水道事業については予定どおり実施する予定でございます。

委員：

先ほど事務局から詳しい説明がありましたが、今後老朽施設が増えていく中で給水量の減少、収益の減少、さらに職員の減少していくことも踏まえ、今後水道施設の耐震化ということについて管路、施設等など先ほど工事の説明もありましたが、これから長い期間の工事となると思いますが、大まかな予定を教えてください。

事務局：

ご質問のあった耐震化について今後どのようにしていくかということですが、施設の耐震化につきましては、水道事業ビジョンをもとに推進して参ります。耐震化の考え方につきましては、各配水エリアの取水施設と浄水施設から第1配水施設までを優先的に施工していきたいと思っております。管路につきましては、重要な管路から耐震を有した管に更新して参ります。令和元年度につきましては、先ほど説明しましたが、切畑地区の配水池の改修を実施させていただきました。それから現在那賀病院を中心とした管路を基幹管路と位置付けまして耐震性のある管への更新を計画しているところでございます。以上でございます。

委員：

2つ質問させてください。1つは添付資料8ページの50年間の投資目標の前半20年間で90億円、後半で510億円と前後バランスに偏りがありますがあえて後半に繰り延べているのか。工事だけのことを考えると平準化したほうが、負担が少ないと思いますが、前半後半の割合の考え方について教えていただきたい。また前半20年の中のさらに前半10年ということで最初の10年で50億円の枠を持っているということですけど、先ほど説明いただいた別添資料2の3年分を合計しますと3年で18億円弱となりますが、ケース的に50億円で収まるのかと思うのですが考え方についてお聞かせください。

事務局：

1点目の90億円の話からになります。直近の20年間につきましては、設備の更新が中心で20年以降は管路更新が中心となります。それぞれで事業規模が大きく異なることもございまして、前半の20年間を短期計画、後半の30年間を中期計画としております。前半の20年間につきましては、短期計画として600億円のうち老朽化が顕著な機械設備の更新事業が中心となる約90億円の投資計画を予定してございます。以上でございます。

事務局：

それから施設の更新について、少し前倒しきみではないかということですが、諸々の施設の現状等を勘案した場合、確かに計画はありますが、まずはこれをしていかなければならないというような大きな更新で後に予定していた分がちょっと前に倒れてきておりまして、設備更新は非常に金額がかかる事業でございまして、前半にせざるを得ない状況下の中で施工させていただくことになった次第でございます。以上でございます。

委員：

もう1点料金の改定を平均18%の値上げをされたということで非常にご英断なことだと思っておりますが、先にどんどん人口が仮に減少するとすれば、経営が苦しくなってくる局面がでてくると思いますが、値上げしたばかりで大変恐縮ですが、今後料金を改定するとして、こまめにするというイメージなのか、いけるところまでいって改定するということなのか、どのようなお考えなのでしょうか。

事務局：

財政計画の方では、将来的には収益的収支で赤字となる見込みでございまして、試算結果ではその時には同率程度の値上げが必要となる見通しですが、その際にはまた審議会等で議論が必要になると思います。またその時には更なる経営の効率化を図り、社会情勢や経済情勢を踏まえたうえで新たな10年間の計画を立てる必要があるということで考えております。以上でございます。

委員：

7ページあるいは9ページのところに国の補助金を活用すると書いておりますが、これは水道事業というのは日本全国一番大事な事業なので、こういう事業をやっているならばそのまま国からお金が下りてくるのですか。あるいは紀の川市でこの事業をやるための努力が必要だということで、言葉が悪いですが、分捕り合戦みたいなのがあって、市の財政のため、また市の予算を少しでも助けようという努力されているのか。国の予算の分捕り具合について簡単にご説明願います。

事務局：

国庫補助事業につきましては、やはり国と県から自動的に補助金が下りてくるものではございません。したがって補助金要綱等を研究し、そして様々な情報に目を配りながら、国と県と随時交渉しております。また補助金要件がございましてこういった要件を満たせるように経営をおこない、事業の財源を確保し、経費節減に取り組んでいます。今後も1円でも多く有効な補助金を活用できるよう継続的に国と県と協議していきたいと考えております。

委員：

補助金は、自動的に下りてくるものではないということで、分捕りにいって努力されているという解釈でよろしいですね。

《質疑終了》

11 その他

議長：

今日は、大体の概要についてお知りいただくということが第1回目の会議でございまして、また後で

事務局のほうから説明がありますけども、今日いろいろ話を聞いていただいた内容についてまたご意見ありましたら「ご意見お伺いシート」というのがありますので、それに書いてメールやFAXまた直接電話でも結構ですので、事務局にお問い合わせください。そのシートについて事務局から説明願います。

事務局：

「ご意見お伺いシート」の説明

議長：

その他事務局から説明願います。

事務局：

- ・報酬の支払先口座の確認
- ・人権学習パンフレット『差別のない社会をめざして』配布説明

副会長：

- ・閉会挨拶

12閉会